



8月の園だより



令和7年8月1日
目黒区立田道保育 園園長

先月は天気の良い日が多く、プール遊びが沢山出来ました。3 歳児クラスは「そろそろプールの時間だよ」と声を掛けるとプールを楽しみにしていて、プールバックを取りに行き、さっさと着替え始めます。保育士がワニ、アヒルやラッコになりきると子どもたちも動物になりきって楽しんでいます。4歳児クラスは友達や保育士との水の掛け合いも前に出て顔を拭いながら参戦しています。また足をピーンと伸ばして顔をつけながらワニ歩きを楽しむ姿が見られます。5 歳児クラスは流れるプールを作ってダイナミックに泳ぎ、保育士が両手に大小のフープも上手にくぐり抜けています。貝殻探しでは潜って目を開けて拾い、全身でプール遊びを楽しんでいました。夏はまだ続きます。プール活動を通して、心も体も開放的な楽しさを存分に味わい、子どもたち一人ひとりの意欲に繋がっていきたいと思います。

事務所の前でカメやイモリ、サワガニなどを飼っています。保護者の方が送迎の際、お子さんと一緒に見に来てくれます。子どもたちはエサをあげるのを楽しみにしていて「エサください」と声をかけてきます。エサをあげると「食べるかな」とエサを食べる様子を親子で顔をつけながら水槽の中を覗き込み「食べたね」とほほえましい会話が聞こえてきます。生き物を通して、親子が共感できる場になっていることを嬉しく感じます。

今月の予定

プール終い / 中旬…身体測定・避難訓練

✿異年齢との関わり✿～幼児クラス～

幼児クラスでは春から、3 クラスでホールに集まって遊ぶ時間を設け、各クラスにどの部屋に遊びに行っても良い日を作って楽しんでいます。同じマークの友達とペアになってホールでゲームを楽しむこともあります。初回はどのクラスの子も少し緊張している姿がありましたが、ここ最近では「〇〇くんこっちだよ」と5 歳児クラスが誘いに行ったり、年下の子から駆け寄ったりと微笑ましいです。ある日の3クラスでの自由遊びの日、3 歳クラスの子が保育士に「これ読んで」と絵本を持ってきました。いるか組の子も加わり、保育士が読み始めると隣に5 歳児クラスの子が来ました。一緒に見に来たのかなと思っていると小さい声で「僕これ読める」とつぶやいています。「読んでくれるの」と聞くと、「先生と一緒になら」と言いながらも上手に読み始めたので見守っていると一生懸命読んでくれていました。見ていた子たちも最後まで楽しそうに聞いていて、終わると急いでもう1冊取りに行き、「これも読んで」と戻ってきました。5 歳児クラスの子は「えー」と少し照れていましたが、どこか誇らしげな表情でした。一緒に遊ぶ中で憧れの気持ちを持ったり、優しく接したりと異年齢ならではの素敵な関わりがたくさん見られています。





動くって楽しい♪ ～乳児クラス～



夏本番、毎日水遊びを楽しんでいる子どもたちです。とびきりの笑顔を見せてくれる水遊びの合間には、部屋や廊下で身体を動かして遊んでいます。



「のぼれたね」 0歳児クラス（めだか組）

室内に設定している斜面版に保育士が登って「おーい」と声をかけるとハイハイやずり這いでやってくる子どもたち。腕や足を使って30cmの斜面を力強く蹴って登っています。登り切った先にある犬や猫の写真も好きで、写真にタッチし「のぼれたね」と保育士が声をかけると笑顔を見せます。ずり這いの子も急斜面になかなか進めないでいましたが、足の親指を斜面につけて踏ん張ると進めることに気づき、自分の体を上手に動かし力強く登っていきます。暑くて外に出られない日が続きますが、室内でも斜面やトンネルなどを設定し、楽しく体を動かして遊んでいます。



「しゅっぱーつ！」 1歳児クラス（あひる組）

だんだんと歩行が安定し、身体を動かして遊ぶことがますます楽しくなり、走る、ジャンプするなど様々な動きに挑戦しています。色々な動きを安全に楽しむために、遊びの中で体幹作りを大切にしています。中でも子どもたちに人気の遊びの一つにみかん箱程の大きさのダンボール箱を使った“箱押し”があります。箱のふちに手をかけ押しながら、車に見立てて「プッポー」と走らせたり、箱の中に入ったり出たりしながら繰り返し楽しんでいます。ぐっと踏ん張って足を前に押し出す動きや、腕で体を支えながら足を上げるといった複雑な動きを子どもたちの興味に寄り添い楽しみながら活動しています。

「できた！」 2歳児クラス（らっこ組）

遊具を設定すると「早く遊びたい」とわくわくしながら廊下に向かうらっこ組です。肋木を横に置いて上によじ登る遊びをしました。春には足台を置いてそこから何とか登っていた子も、今では足台なしで棒を握り「よいしょ」と全身に力を入れて足をかけて登れるようになってきました。四つ這いで渡る時には、足を踏み外さないようにドキドキしながら慎重に渡っています。最後の滑り台は高さもありスピードがでるのでスリルも味わえ「できた！」と達成感でいい表情です。何度も繰り返し挑戦することで、手や腕の力、バランス力などがいつの間にか身についてきています。

